

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0745
施設名	熊川保育園
施設所在地	福生市熊川597-1
法人名	社会福祉法人不動福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

いのち(4・5歳児)

<テーマの設定理由>

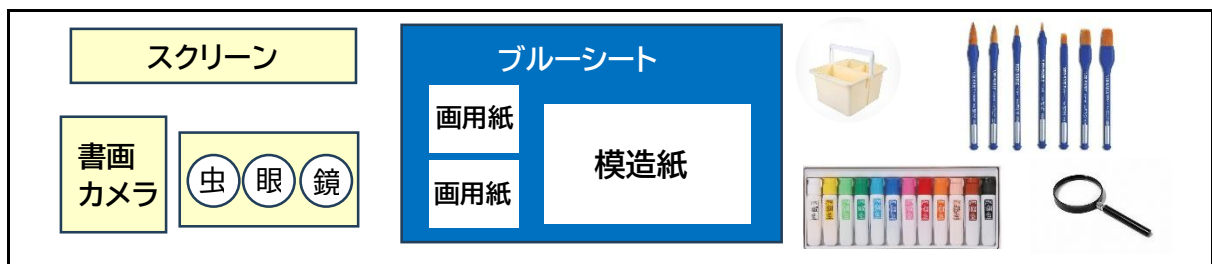
戸外遊び中に虫探しが始まり、観察したり触ったりする中で虫が死んでしまったことから少し難しいテーマですが「いのち」を設定することにしました。



2. 活動スケジュール

- ・令和6年8月8日(木)「よく観る」
- ・令和6年9月10日(火)「絵を描く」
- ・令和6年10月9日(水)「絵具」

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定



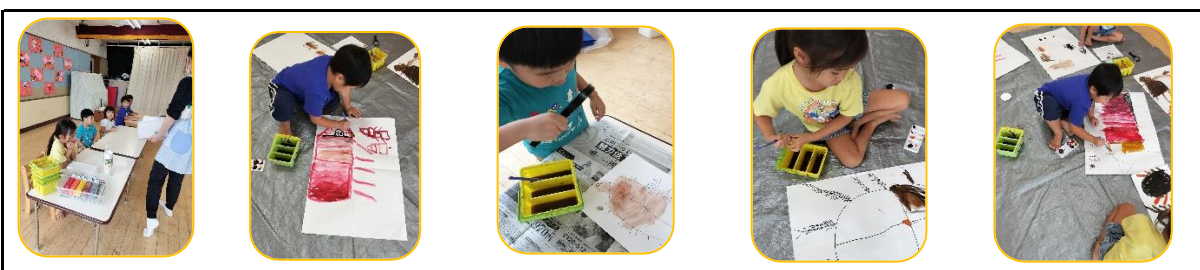
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・身近な公園や園庭で虫探しをする→図鑑などで名前を調べる→部屋へ持ち帰り観察する→虫眼鏡や書画カメラを使って、より細かい所まで観察してみる→発見を写真に撮ったり友だちや保育士と共有する→様々な大きさの紙や画用紙に虫を観察しながら絵を書いたり、イメージを色で表現したりする

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・園庭や散歩先で虫を見つけると、友だちに「こんな虫見つけたよ」と声を掛け「すごい、なんていう虫かな」「調べてみよう」と図鑑を見ていました。保育士も一緒に虫探しをし、仲間のように見つけたら子どもたちに声を掛けたり共感して関わり、発見やわくわく感を共有しました。珍しい虫を見つけると「すごーい」とちょっとしたヒーローになった気分の子どもたちでした。クワガタやカブトムシは部屋で育て、毎日観察したり触ったり虫眼鏡等でじっくり見たりと身近な触れ合いを十分に行い観察画をすることにしました。書画カメラでは、今まで気づかない足の細かい部分や、毛のような所まで見る事が出来発見の連続でした。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・大きな用紙にダイナミックに描く姿や小さい用紙を選んで筆の穂先を使って細かく描く姿など日頃見られないほどの真剣な表情で取り組んでいました。色づくりでは、何色と何色を混ぜたらカブトムシ色になるのかなど考えながら、色の出来上がっていく様子を楽しんでいました。今回の取り組みの後の散歩では、色を意識して赤や黄色ではなく、カブトムシ色やダンゴ虫色などの表現をする場面が増えていました。テーマは「いのち」でしたが、子どもたちの興味や発見、気づきによって展開をし、テーマから少し外れた内容もありましたが、子どもも保育士も同じ空間でたくさんの共感を感じることができました。